



待ちもーど NO. 7

2000. 6. 21

『 歯周疾患 Part1 歯周病とはどんな病気なの? 』

6月は歯の衛生週間があり、テレビなどで歯周病について耳にする機会も多かったと思います。
最近では歯周病も生活習慣病の一つと言われるようになりました。

生活習慣病とは、個人の食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などのライフスタイルのゆがみによって生じてしまう疾患群のことです。特に歯周病は食習慣や喫煙に因果関係が強くあります。

皆さんには歯周病というよりも、「歯槽膿漏」と言ったほうが身近に感じられるかもしれません。これは歯グキから膿や血が出る病気を言いますが、最近では様々な症状があるため、歯周病と呼ばれるようになりました。

歯周病は虫歯のように激痛があるわけでもなく、ゆっくりと進行するので、自覚するまでには非常に時間がかかります。歯の揺れを感じたり、歯グキが腫れたりというような症状が出た時には、かなり進行している場合が殆どです。

歯周病とはどんな病気なのかということをお話する前に、進行の程度による症状を簡単に述べてみましょう。

< 健康な歯グキ >

- ・きれいなピンク色
- ・硬く引き締まっている
- ・歯と歯の間は三角形の歯グキで満たされている
- ・歯は骨の中に埋まっており、溶けていない

< 歯肉炎 >

- ・歯グキは赤く腫れている
- ・歯ブラシなどの刺激で出血しやすい
- ・骨はまだ溶けていない

< 中等度の歯周炎 >

- ・歯グキは発赤、腫脹
- ・骨の吸収は3分の1から2分の1程度
- ・この頃から歯の揺れがあり、自覚しはじめる

< 重度の歯周炎 >

- ・歯グキの腫れ、発赤、腫脹、排膿
- ・歯石や歯根の露出
- ・歯の揺れ
- ・骨の吸収は2分の1以上へと進む
- ・部分的には骨の支えもなく歯が浮いた状態になる

歯周病の主な原因は、歯の汚れ（歯垢、歯石）からくるものです。